

# 「子ども食堂始めてみて」

## 佐藤教授(八短大)呼び掛け

青森でセミナー

青森県社会福祉協議会(前田保会長)主催の「子ども食堂」開設セミナーが16日、青森市で開かれ、県南地方で初の子ども食堂を開いた八戸学院大短期大学の佐藤千恵子教授が、開設を検討する参加者ら約120人を前に「地域に笑顔があふれる子ども食堂を始めてみませんか」と呼び掛けた。

子ども食堂は孤食や貧困対策などを狙いに、食事を

無料または低料金で提供する場で、全国に300カ所以上あるという。コンセプトや活動内容は広がりを見せており、佐藤教授は「子ども食堂イコール生活困窮ではない。いろんなスタイルがある」と強調する。

佐藤教授は見た目では貧困が判断しにくい「相対的貧困」の状況を踏まえ、誰でも参加できることを重視し、2016年11月、ゼミ活動の一環として市内に

食堂を開いた。北奥羽地方には現在、四つの食堂がある。県の食育に関する委託事業として、八戸市の「はっち」で実施した昨年7、12月の子ども食堂(計6回)

では、延べ大人129人、子ども61人が参加。利用者アンケートでは「ゆっくり子どもと話しながら食事ができた」「味はもちろん、みんなと談笑することが重要」などの意見が寄せられたと報告した。

(田沢奈々)



子ども食堂開設の経験を語る  
佐藤千恵子教授  
=16日、青森市